

シェアリングエコノミーを活用した 新しい働き方の創造と地方創生

株式会社パソナ
ソーシャルイノベーション部

地方に人が集まる「夢のある産業」を創る

現在日本では、保育園の待機児童や少子化問題、シングルマザーや中高年の貧困問題、働き盛りの介護離職問題、さらに高齢化と人口減少が進む地方の問題など、さまざまな「社会の問題点」が存在していますが、そうした課題は**地方創生に取り組むことで解決**できます。

パソナグループでは、地方創生を通じて働く人々の環境を「**企業依存社会**」から「**個人自立社会**」へと転換し、一人ひとりが自分のライフスタイルに合わせて働くことのできる「**Independent Work System**」を確立する必要があると考えます。

このような社会を実現するためのアクションを「**Smart Life Initiative**」と位置づけ**誰もが夢と誇りを持って活躍できる、真に豊かな社会の実現**に向けて様々なことにチャレンジしています。

新しい働き方の創造



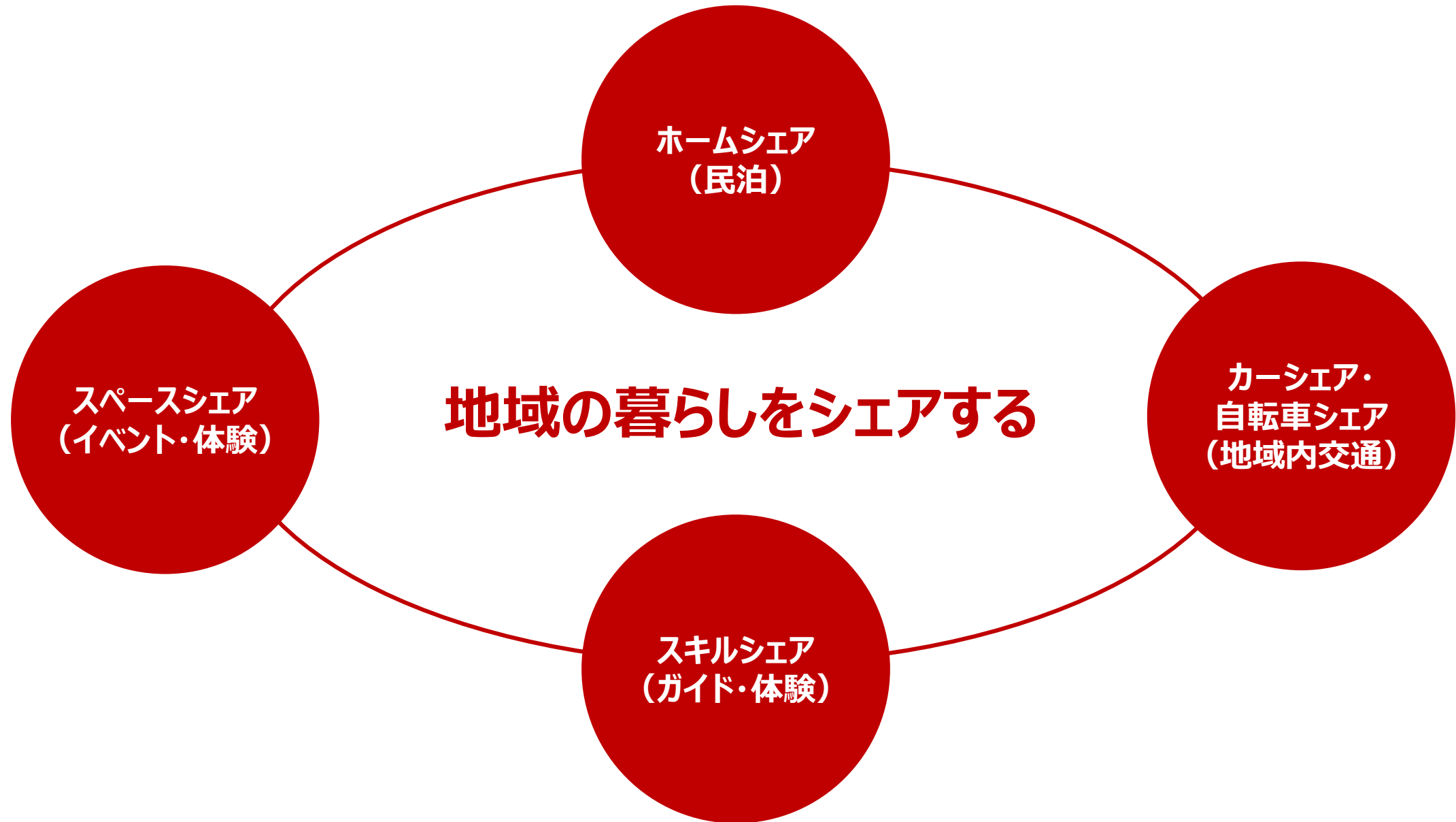
地方創生

シェアリングワーク

個人の保有する知識・スキル・資産をシェアリングすることによってサービスを提供する新しい働き方の創造

シェアリングシティ

地域資源や遊休資産を活用した新しいサービスの創造による産業振興、雇用創造、地域活性化



資産提供者
(地域住民など)

不動産

- ・子供が巣立って、余っている自宅の部屋
- ・あまり使わなくなった別荘
- ・相続したが売買の予定がない空き家や土地
- ・空いているスペース

市場

ホームシェア

- ・民泊体験として利用
- ・お試し移住拠点として利用

スペースシェア

- ・コワーキング施設として利用
- ・駐車場やイベント場として利用

動産

- ・高齢であまり運転しなくなった車やバイク、自転車

市場

カーシェア・自転車シェア

- ・二次交通として利用

スキルや知識

- ・コミュニケーション能力、語学力等
- ・農業やモノづくり、歴史・文化などの技能・知識
- ・料理、家事などのスキル

市場

スキルシェア

- ・体験ガイドサービスとして利用等

資産利用者
(旅行者、起業家など)

新しい働き方の創造と地方創生

新しい働き方の創造 (シェアリングワーク)

- 地域住民が保有する遊休資産・知識・スキルをシェアしてサービスを提供する新しい働き方が創造される
- 地域住民が本業・子育て・介護・家事などと両立しながらライフスタイルに合わせた柔軟な働き方が出来る
- 地域の文化を発信できる、自分の趣味や特技を活かせる、多くの人と繋がりを持つことが出来るなど、地域住民にとってやりがい、生きがい、誇りのある仕事生まれる

新しいサービス創出による 需要創造・喚起

- 地域住民と旅行者との深い交流や繋がりの構築によって、地域の暮らしを深く体験することができるサービスが生まれる
- 地域住民にとっても旅行者にとっても利便性の高い地域内交通などのサービスが生まれる
- 地域住民が独自に持つ知識・スキルを活用した新しい体験ガイドサービスが生まれる

地域内消費の増加

- 地域における多様なシェアサービスの充実によって、地域の暮らしを深く体験したい旅行者や、時間や場所に捉われない働き方をするワーカーなどの交流人口が拡大し、飲食・小売・清掃・娯楽サービスなど地域内サービス消費が増加する
- 地域住民のシェアリングワークによる所得向上による地域内消費の促進が期待できる

地域コーディネート機能の強化

理念・ビジョンの共有

○地域団体やコミュニティとの信頼関係を構築した上で、シェアリングエコノミーを活用した観光地域づくりの意義や目的を共有する

○地域団体やコミュニティと協働して、シェアリングワークの普及促進や、シェアリングワークにチャレンジする地域住民を募集する

ホストサポート

○シェアリングワークを始めるにあたっての知識や情報を提供するセミナーや研修を実施する

○シェアリングワークをする地域住民に寄り添って、シェアサービスの企画・開発・運用、シェアリングプラットフォームの活用、行政手続き、保険などの面で必要なサポートを提供する

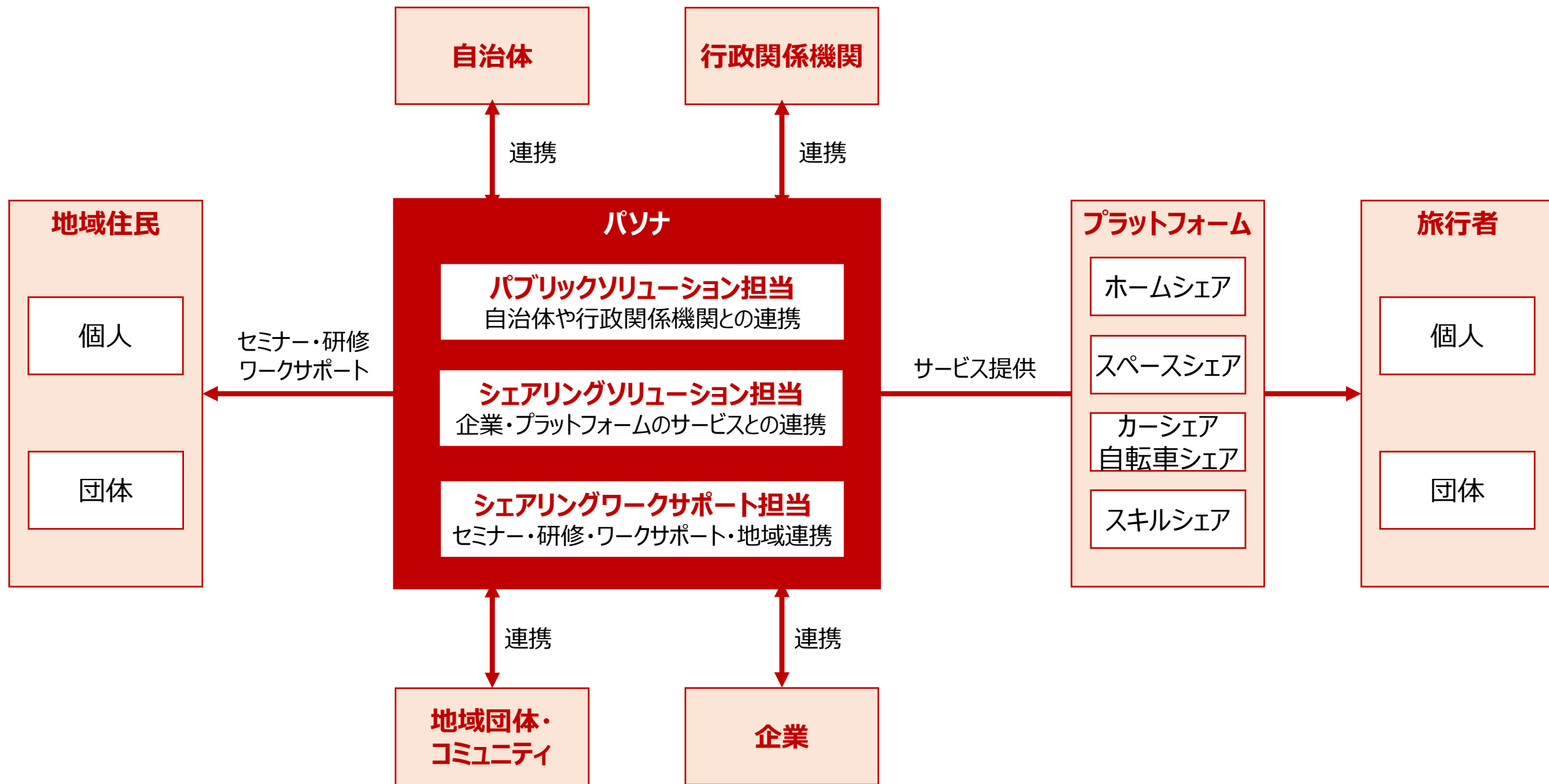
コーディネート

○地域住民と旅行者との相性を鑑みた上で、最適なマッチングを図る

○旅行者へ、ホーム、スペース、カー、自転車、体験ガイドなどワンストップで多様なシェアサービスを提供する

○自治体、行政関係機関、地域団体・コミュニティ、企業、地域住民、旅行者、シェアリングプラットフォーム企業などのステークホルダー間の各種調整

シェアリングエコノミーを活用した観光地域づくり推進体制



観光

×

民泊

- ・ イベント時等の民泊推進による宿泊施設不足の緩和
- ・ 家主居住・交流型民泊の推進による旅行者満足度向上
- ・ 宿泊数増による地域の経済効果の創出

農業

×

民泊

- ・ 農泊（農山漁村地域での滞在型観光）の推進
- ・ 地域資源を活用した、ここでしか出来ない体験の提供
- ・ 小規模農家等の新しい収入源の確保

移住

×

民泊

- ・ お試し移住等における民泊の活用推進
- ・ 家主居住・交流型民泊による地域の生活や文化を体感
- ・ 地域住民と移住希望者の交流によるコミュニティ形成促進

防災

×

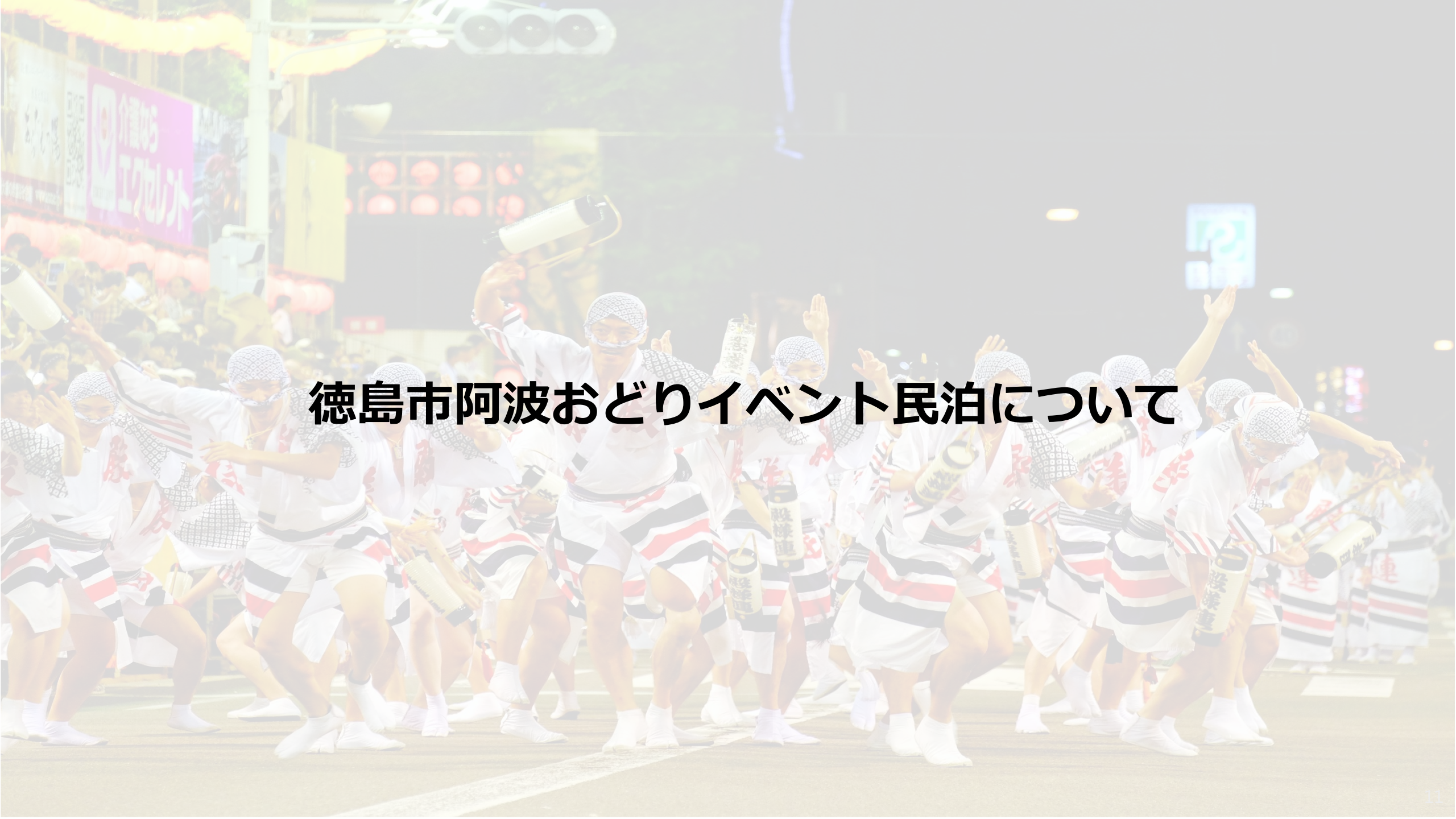
民泊

- ・ シームレス民泊の推進
（民泊施設を災害時には避難所としても活用する形態）
- ・ 地域内の繋がり・コミュニティ形成促進

パソナとシェアリングエコノミー協会『地方創生実現に向けた包括的連携協定』締結

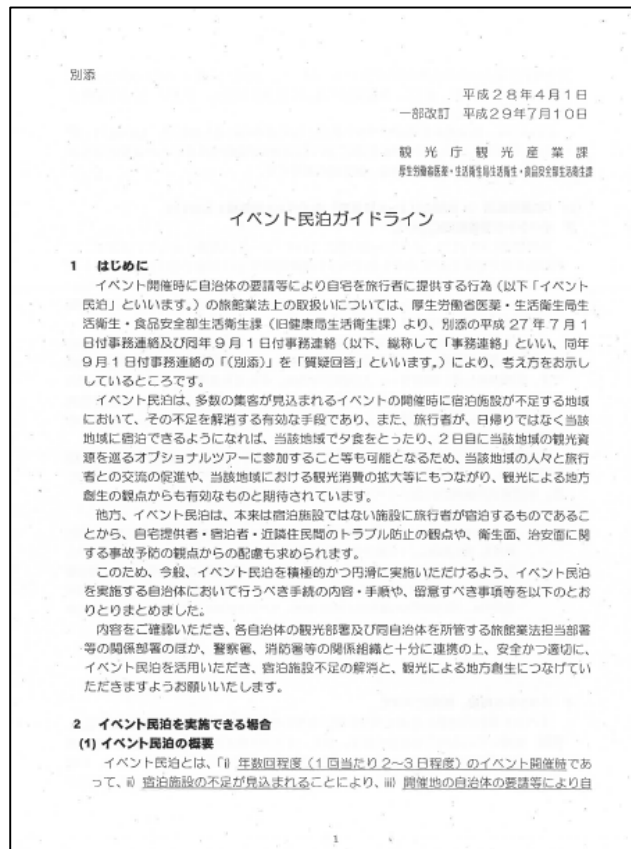
パソナとシェアリングエコノミー協会は、地域に眠っている様々な遊休資産（空間、乗り物、モノ、人のスキル等）をシェアリングエコノミーを活用して提供していくことで、地域課題を解決しながら、地域に新たな雇用と経済効果を創出してまいります。シェアリングエコノミーにより、地域のユニークスペースやシャッター商店街等を新たな観光資源として、これまでの観光サービスとは違った新しい体験を提供したり、アクティブシニアを新たな人的資源として子育て、家事代行、観光ガイドサービス等を提供するなど、地域の人と資産を活かした新しい産業振興、雇用創出に取り組んでまいります。

締結日	2016年11月21日（月）
目的	地域に眠っている様々な遊休資産（空間、乗り物、モノ、人のスキル等）をシェアリングエコノミーを活用して提供していくことで、地域課題を解決しながら、地域に新たな雇用と経済効果を創出する
内容	・シェアリングエコノミーサービスの普及・促進 ・シェアリングエコノミーとして利活用できる遊休資産の洗い出し ・シェアリングエコノミーサービスの起業家／担い手の育成 ・地域のシェアリングサービス資産の保有者とシェアリングサービス起業家／担い手とのマッチング ・シェアリングエコノミーに関連した事業の立ち上げ支援 ・シェアリングエコノミー利用促進に向けたセミナー・研修の開催

A group of performers in white and red striped costumes are performing a dance on a street at night. They are wearing white headbands with a grid pattern and white socks. The background shows a street with traffic lights and a crowd of people. The text "徳島市阿波おどりイベント民泊について" is overlaid on the image.

徳島市阿波おどりイベント民泊について

□ イベント民泊ガイドライン（平成29年7月10日 一部改訂）



□ イベント民泊とは

自治体の要請等により、以下の状況下において、民泊サービスを実施する際に**旅館業法に該当しないものとして取り扱い**、自宅提供者（民泊ホスト）において、**旅館業法に基づく営業許可なく宿泊サービスを提供することが出来る制度**である。

- ① 年に複数回程度のイベント開催時であること
- ② 宿泊施設の不足が見込まれること
- ③ 開催地の自治体の要請等により自宅を提供するような公共性の高いものであること

□ イベント民泊実施における主なポイント

- ① イベント開催地の自治体の要請等が必要であること
- ② **イベント民泊の実施について公共性が認められるのであれば、イベントそれ自体が公共的なものである必要はないこと**
(過去には、地域の伝統的なお祭りやスポーツイベント、音楽イベント等での開催例もある)
- ③ 一施設について、各イベント民泊期間中に、宿泊者の入れ替わりがない態様であること
- ④ 自宅提供者は宿泊料の徴収が可能であること

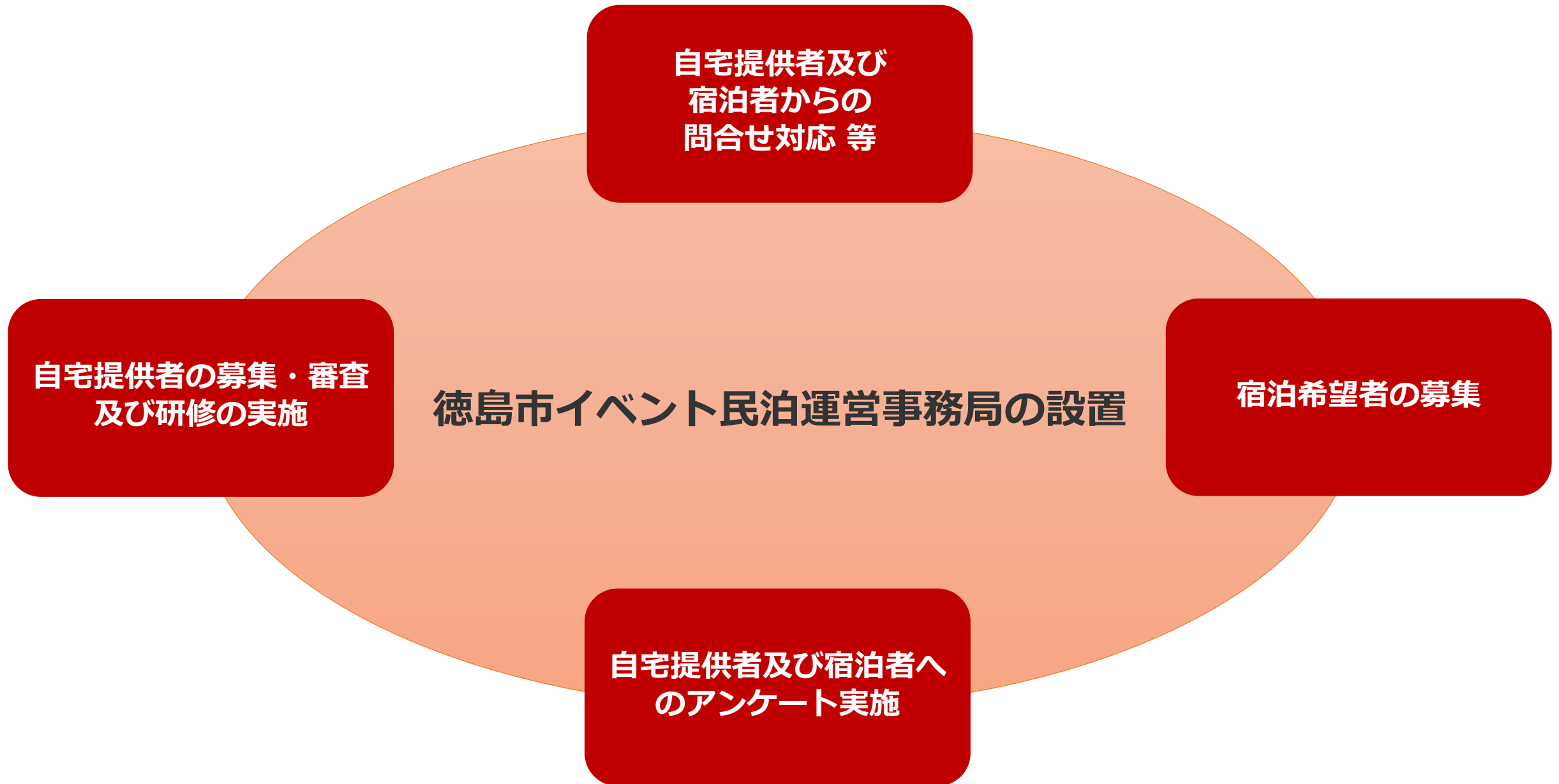
徳島市阿波おどりは、昨年度は**4日間で約123万人の来場者**にのぼるものの、**市内の宿泊施設の部屋数は約3400室（6,100人程度）**のキャパシティとなっており、かねてより**宿泊施設不足が課題として叫ばれていたため**、イベント民泊実施に至った。

徳島市阿波おどり開催時の
慢性的な宿泊施設不足の緩和

宿泊客増による
経済効果の創出

地域住民と観光客の
交流を促進

徳島市の地域活性化

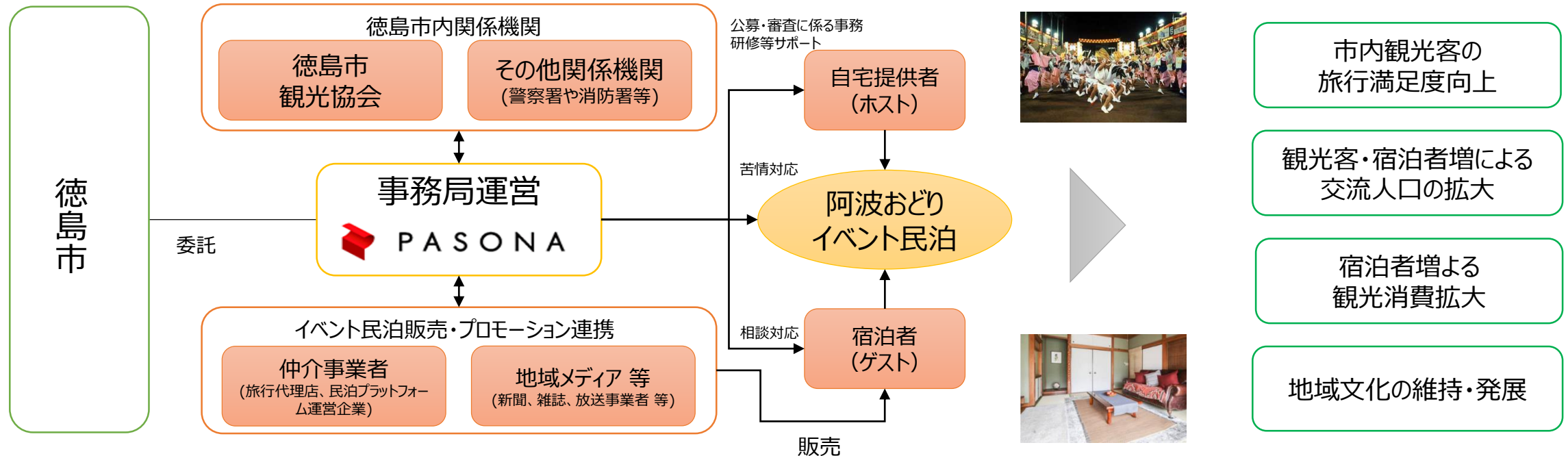


徳島市イベント民泊事務局業務 実施スキーム

阿波おどりイベント実施期間におけるイベント民泊を推進するための事務局を行うことで、観光客の旅行満足度向上及び**イベント民泊時の安心・安全な運営体制を強化**するとともに、自宅提供者、市内への宿泊者増、そして当該地域における**観光消費の拡大等による地域経済活性化、地域文化の維持・発展**に貢献。

■事務局業務の内容

- ・ イベント民泊実施における事務局（以下、イベント民泊運営事務局）の設置
- ・ 自宅提供者の要請（公募）、審査にかかる事務
- ・ 関係機関、仲介事業者（旅行代理店や民泊プラットフォーム運営企業等）と連携したイベント民泊実施におけるプロモーションの実施
- ・ 自宅提供希望者へ、イベント民泊実施における留意事項の周知及び受入講習会の実施
- ・ 阿波おどり期間におけるイベント民泊実施時の苦情相談窓口の運営（トラブル対応等）



徳島市イベント民泊事務局 — 自宅提供者（民泊ホスト）の募集

□ 自宅提供者募集に関するチラシ

徳島市 阿波おどりイベント民泊 実施！
宿泊を受入れてくださるお宅を
募集します!!

イベント民泊 実施期間	8月11日（金）～ 8月16日（水） （※ 1泊～5泊。8月16日はチェックアウトのみ）
申込締切日	7月28日（金） （締め切り後でも、ご希望の場合は事務局にご相談ください）
募集要項 （一部抜粋）	・ 徳島市内にある自宅等であること。 ・ 空家は不可ですが、住居の同一敷地内の離れは可能です。 ・ 宿泊者に食事の提供はできません。 ・ 宿泊のみで、周遊観光や特別なおもてなしは不要です。 ・ 宿泊金額はご自身で設定可能です。 ※詳細は徳島市ホームページ、または事務局へご確認ください
申込方法	申込書兼同意書に必要事項を記載の上、イベント民泊運営事務局までご送付ください。 ※申込書は、運営事務局にご連絡いただけましたら郵送いたします。

徳島市では、徳島市阿波おどり期間中の宿泊施設の不足を改善するため、観光客にご自宅の空き部屋などを提供する「イベント民泊」を実施し、より多くの観光客が阿波おどりや観光地巡り等を楽しめるようにお部屋等を提供していただける方を募集します。

詳しくお聞きになりたい方には
 個別説明をいたしますので、イベント民泊
 運営事務局までご連絡なくお尋ねください。



□ イベント民泊自宅提供者募集説明会の様子



- ・ 市内のコミュニティセンターなどを活用し、説明会を実施
- ・ 市内で6月中の合計7回開催
- ・ イベント民泊参加申込方法や実施にあたっての留意事項等を説明

- ① 徳島市内にある自宅等であること
- ② 空き家は不可ですが、住居の同一敷地内の離れは提供可能
- ③ 宿泊者ひとりあたり3.3m²程度（畳約2畳分）を確保すること
- ④ 宿泊者に食事の提供はできない
- ⑤ 原則宿泊場所の提供のみで、周遊観光や特別なおもてなし等は任意
- ⑥ 住宅用火災警報器を宿泊者受け入れまでに設置することが必要
- ⑦ 宿泊金額は自宅提供者自身で設定が可能
（一律〇〇円/泊などのルールは設けず）

□ 自宅提供者申込書の審査

様式 1

徳島市観光課 宛

平成29年度徳島市阿波おどり期間中におけるイベント民泊
申込書 兼 同意書

下記のとおり、徳島市が指定した期間内（8月11日～8月16日）において、自宅を宿泊施設
として提供することについて申請するとともに、同意事項に記載の内容について同意します。

記

1 提供する自宅の内容 ※（4）～（7）は該当する項目に○をしてください

(1)	ふりがな 氏名	
(2)	自宅提供日	チェックイン日：8月 日（ ）～ チェックアウト日：8月 日（ ） ※イベント民泊実施期間は8月11日のチェックイン分から16日のチェック アウト分までの間です
(3)	施設所在地 （住所）	〒 徳島市
(4)	施設所有状況	①自己所有 ②親族所有（申請者との関係： ） ③借用
(5)	施設の種類	①一戸建（自宅） ②一戸建（離れ） ③共同住宅 ④その他（ ）
(6)	部屋の提供形態	①部屋の全部 ②部屋の一部 ③その他（ ）
(7)	提供部屋数	①1部屋 ②2部屋 ③3部屋以上（ ）部屋
(8)	宿泊可能人数	（ ）人 / 泊 ※原則として1人につき床面積3.3㎡（約2畳）程度
(9)	宿泊料金（予定）	円 / 人 ※食事の提供は不可
(10)	緊急時連絡先	対応者氏名： 電話番号：

□ 事務局による現地調査の実施



徳島市イベント民泊事務局 — 自宅提供者（民泊ホスト）の提供物件イメージ①





□ 自宅提供者用の手引き作成

徳島市阿波おどり期間中における イベント民泊実施の手引き

徳島市 イベント民泊運営事務局
(業務受託者：株式会社パソナ)

平成29年8月

イベント民泊
終了後

※事前に口座振込みや民泊仲介サイト等による決済をしても問題ありません

- ・チェックアウト時にも、原則宿泊者全員の本人確認を実施してください
- ・イベント民泊実施後、宿泊者の受入状況やアンケートを記入し、事務局まで提出してください

※イベント民泊販売方法や宿泊者の当日受入や受入準備等については、別途民泊運営の代行を行う会社へサポートを依頼することも可能です。

□ 事務局による自宅提供者向け研修会の実施



宿泊者への対応方法やイベント民泊のルール、
関連法規の順守及びトラブルの防止や損害保険へ
の加入推奨等に関する研修を実施

徳島市イベント民泊事務局 — 宿泊者募集の実施

□ 宿泊者募集専用サイトの制作・運営

徳島市阿波おどりイベント民泊

徳島市では、徳島市阿波おどり期間中の宿泊施設の不足を改善するために、国のガイドラインに基づき、8月11日から16日(16日はチェックアウトのみ)までの間、観光客に宿泊の機会を提供する「イベント民泊」を実施します。民泊を通じて、自宅提供者との交流や、阿波おどりや観光地巡りなどを楽しんでもいただければと思います。

【宿泊希望者への基本的な連絡・確認事項】

- ・ 宿泊施設は一般のご家庭が中心となるため、通常のホテルや旅館等と比べて設備等が異なる場合がございます。尚、施設・備品等については十分ご確認くださいませ。様々よろしくお願いいたします。
- ・ 宿泊施設によっては、オーナー様や他のお客様と同居となる場合もございますので、事前にご予約の際にお問い合わせください。
- ・ 宿泊施設は各自のルールがございますので、ご予約の際に確認ください。
- ・ 最寄り駅からの送迎等は原則ございませんので、ご自身で宿泊施設までご移動してください。
- ・ 食ブラジヤタル、パジャマ等宿泊に際して必要な備品は原則持参してください。
- ・ 宿泊施設での自宅提供者からの食事の提供は禁止となっています。お食事はご自身でお済ませください。
- ・ 宿泊中にたばこはその宿泊施設のルールに従い分別頂くか、お持ち帰りください。
- ・ チェックイン予定時刻に遅れる又はキャンセル等の場合は、迅速に宿泊施設へご連絡をお願いします。

□ プラットフォーム企業と連携した宿泊者募集

[ホストになる](#)
[ヘルプ](#)
[アカウント作成](#)
[ログイン](#)

徳島市阿波おどり

まだ遅くない！
数ある阿波踊りの中でも日本最大規模を誇る徳島市阿波おどり期間中に宿泊できる地元のお宅をご紹介します！

□ Travel HUB MIXを活用した宿泊者募集プロモーション

【販売終了】 【最大6名宿泊可能】 岡山すくものかき氷屋 阿波おどり会場まで徒歩約10分

岡山すくものかき氷屋に位置するお宿です。アットホームな雰囲気がお宿をおもてなしします。外観は木造です。ディナータイプダブルもお出迎えします。阿波おどり会場まで1本道なのでわかりやすいです。

宿泊可能日	8月11～15日 (16日はチェックアウトのみ) ※最寄宿泊日数2泊以上
宿泊料金	6,000円/人
所在地	徳島市徳島町
アクセス	JR阿波富田より徒歩15分 徳島バス阿波富田北下車より徒歩2分
駐車場	無 (周辺にコインパーキング有り)
その他	・ 最大宿泊可能人数：6人 ・ 使用可能な備品 (テレビ、エアコン、コーヒーメーカー、コーヒーポット、アイロン、ヘアドライヤー、洗濯機(4Fに2台)、掃除機、マッサージ機、コインロッカー等) ・ 犬を1匹飼っています (ペットの宿泊不可) ・ オーナー英語対応可能 ・ 室内での喫煙不可 (喫煙はベランダにて) ・ その他詳細は下記の「Airbnbからお問い合わせ・お申し込み」から情報をご確認ください

からのお問い合わせ・お申し込み

【販売終了】 ファミリー向けのお部屋 (2F和室)

ファミリー向けまるまる一棟貸し。徳島で暮らしているかのような感覚になれるお宿です。広い敷地内に隣接するホストファミリーとの距離も楽しめます。

宿泊可能日	8月13～15日 (16日はチェックアウトのみ)
宿泊料金	10,000円/人
所在地	徳島市徳島町
アクセス	徳島市営バス 徳島一丁目下車 徒歩1分
駐車場	有り
その他	・ 最寄宿泊人数2名～ ・ 最大宿泊人数4名 ・ スーパー、ドラッグストア徒歩3分。車の前にバス停。会場まで歩いて20分。 ・ 車道沿いで小学校に隣接しており安全。 ・ 連泊されるお客様は、沖洲のあたりへ越えバスをのりお乗りするなどアクティビティをしていただくにも便利な宿となります。 ・ 利用可能な備品：シャワー、クローゼット/タンス、テレビ、冷蔵庫、エアコン、机、専用の玄関、キッチン、ハンカチ、洗濯機、ノートPC向けワークスペース

からのお問い合わせ・お申し込み



□弊社による外国人のチェックインサポート



□民泊ホストとゲスト（観光客）の交流



自宅提供者募集期間：平成29年6月1日～7月28日
イベント民泊受入可能期間：平成29年8月11日～8月16日

	申込	審査通過	稼動(民泊受入)
自宅提供者数	36	31	26
提供部屋数	65	46	38
延べ宿泊人数	1458	1363	273 (うち外国人宿泊者数：44人)

【スペースシェア】 阿波おどりグループが、衣装の着替え場所として活用





シェアリングシティプロデューサー



加藤 遼（かとう りょう）

株式会社パソナ ソーシャルイノベーション部 副部長

株式会社パソナグループ 政策投資委員会 New Value Creation Fund シニアマネージャー

株式会社地方創生 取締役事業開発室長

株式会社V I S I T東北 取締役事業戦略本部長

パソナ入社後、大手から中小・ベンチャーまで幅広い業界・業種・規模の企業の人財採用・育成・活用支援に携わった後、行政・企業・NPOなどと連携して、若者雇用、東北復興、海外展開、地方創生、観光立国、シェアリングエコノミーなどをテーマにした事業企画・開発・立上に取り組む。直近は、シェアリングエコノミーを活用した地方創生や新しい働き方の創造をテーマに、シェアリングワークやシェアリングシティの推進に注力している。また、地域活性化ベンチャーファンドの事務局として、起業家の発掘・育成、事業のインキュベーションに取り組み、出資先である地方創生やVISIT東北の事業開発・戦略担当役員も兼務。その他に、政府・自治体の政策委員や講演活動、NPOのマーケティング支援などにも参加している。

＜政策事業に関する直近5年の主な活動実績＞

- ・経済産業省 多様な人活支援サービス創出事業 事業企画責任者（2013-2014）
- ・厚生労働省 雇用創出基金事業の検証に関する研究会 事例報告者（2014）
- ・経済産業省 中小企業海外人材確保育成支援事業 事業企画責任者（2014）
- ・経済産業省 地域企業人材共同育成事業 事業企画責任者（2014-2015）
- ・総務省 集落ネットワーク圏を担う人材の確保とつながりの構築に関する研究会 委員（2015）
- ・丸森町 宮城県南DMO形成業務 事業企画責任者（2016）
- ・釜石市 ローカルベンチャープログラム 外部メンター（2016-2017）
- ・内閣官房 外国人観光客、障害者等に対する新たなサポート運動推進検討会 委員（2017）
- ・徳島市 イベント民泊実施業務 統括責任者（2017）



お問合せ先

担当

株式会社パソナ
ソーシャルイノベーション部

連絡先

TEL : 03-6734-1058
E-mail : sharingwork@pasona.co.jp
〒100-8228
東京都千代田区大手町2-6-2
<https://www.pasona.co.jp/>
